

# 人権を考える

## Part2

### 今年度はこんな人権教育に取り組んでいます

長門市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな社会の実現に向け、地域に密着したきめ細かな人権教育・人権啓発活動を推進しています。

今年度は、人権教育の重点指導課題として「命の大切さ」を取り上げ、3回のセミナーとフェスティバルを開催しました。

### 第1回長門市人権教育セミナー

- 開催日 7/26(火)
  - 場所 長門市立図書館視聴覚室
  - 参加者 約120人
- 教育サポーターの仲島正教さんを講師として招き、「あーよかったなあなたがいて〜やさしさという温かい貯金」という演題で講演会を行いました。
- 仲島さんは兵庫県西宮市で小学校教師を21年間務め、その後、平成17年4

月より教育サポーターとして若手教師に「授業づくり」や「学級づくり」などのセミナーを開く一方で、「人権教育」や「子育て」などをテーマに全国各地で講演活動を行っています。

講演では、これまでの経験を交えながら、大人が「子どもの未来への応援団」として、常に優しいまなざしで見守り、子どもたちの心にかくさんの温かい貯金を残していくことが大切だと話しました。

【参加者の感想】  
▼今日は仲島先生の話聴き、心の中



▲仲島正教さんが「やさしさ」をテーマに講演

にいつぱい貯金ができました。この貯金をこれから学級の児童へ、家族へ、周囲の人々の心の中へ返していきたいと思います。

▼「10秒の愛」「やさしさの貯金」「子どもは過去よりも未来が大事」など、

心に残る言葉がたくさんありました。日々の生活の中で思い出し、実践していこうと思います。

▼講演の感動が、明日の、そして未来の子どもたちや自分自身の笑顔につながる、これからの心の貯金になればうれしいです。

### 長門市人権フェスティバル 県人権ふれあいフェスティバル

- 開催日 8/20(土)
- 場所 ラポールゆや 大ホール
- 参加者 約500人

今年度は県人権ふれあいフェスティバルとの合同開催として、県内各地域から約500人の参加者を迎えて盛大に開催されました。市内の和太鼓グループ「鼓波会」の演奏から始まったイベントでは、アトラクションとして「油谷こどもミュージカル」の魔法使い「〜」の披露や、落語家の笑福亭鶴笑さんによる「地上に平和を！人々に笑顔を！〜笑いは世界の共通語〜」と題した講演が行われました。

また、会場内には人権啓発ビデオの上映や人権相談コーナー、人権に関する児童生徒の作品展示など、さまざまなブースを設け、参加者の人権問題への関心や理解、人権意識の高揚に向けた取組を行いました。

- 【参加者の感想】
- ▼笑福亭鶴笑さんの講演、落語はとても面白く感動しました。励ましの笑顔が感動を呼ぶのだと思いました。
- ▼各地域の特性にふれあいながら、人権に関する研修ができて素晴らしいと思いました。
- ▼今回の「油谷こどもミュージカル」や和太鼓「鼓波会」の演奏はとても良かったです。



▲「鼓波会」による力強い和太鼓演奏

### 第2回長門市人権教育セミナー

- 開催日 9/24(土)
  - 場所 三隅中学校
  - 参加者 約180人
- 岡山県視覚障害者協会理事の竹内昌彦さんを講師に「私の歩んだ道〜見えなから見たもの〜」と題して講演



▲命の大切さについて話す竹内昌彦さん

が行われました。本セミナーは三隅中学校の人権参観日と兼ねて開催し、三隅中学校生徒と教職員のほか、保護者も参加しました。

講演では、視覚障害者として生きてきた講師自身の経験をもとに、信念を持って力強く人生を歩んでいくための考え方や心の持ち方、行動のあり方などが話され、参加者は感銘を受けている様子でした。

【参加者の感想】  
▼竹内さんの真摯な生きざまに心揺さぶられました。障害のある子どもたちの自立に向けた組織的な支援や、何より一人ひとりの人としての優しさが大切と強く感じました。

▼竹内さんの講演を聴いて、差別や偏見をなくし、みんなに平等に接していきたいと思いました。また、困っている人がいたら積極的に自分から

### 第3回長門市人権教育セミナー

- 日時 12/4(日)
  - 場所 日置農村環境改善センター
  - 参加者 約140人
- 第3回の人権教育セミナーは「第37回日置地区あたたかいふるさとづくり研修大会」を兼ねての開催となりました。



▲「絵てがみ」優秀作品の表彰

開会行事では、日置女声合唱団「白い風車」による合唱が行われ、続いて長門市青少年育成市民会議日置支部の

「第37回日置地区あたたかいふるさとづくり研修大会」

声をかけ、助けてあげられる人になるうと思いました。

▼人間が平等であることの大切さ、命の大切さを学びました。幼い頃に視力を失い、いじめられながらも勉強を続け、懸命に生きて教員になられた竹内さんの姿にとても勇気づけられました。

片山多枝子支部長から、「絵てがみ」優秀作品の表彰として10人の園児・児童・生徒に賞状が授与されました。あわせて日置地区の小・中・高校の児童生徒による意見発表も行われました。

また、「グリーンサポーターやまぐち」代表の山根和子さんによる講演「思いをつなげて」では、酒気帯び運転の自動車事故でわが子を亡くされた当時の背景や思いを語られ、犯罪被害者やその家族を社会全体で支えていくことの重要性を訴えました。

参加者は犯罪被害者やその家族に対する周囲のサポートの重要性について学びを深めました。

【参加者の感想】  
▼被害者、加害者が身近におらず関心が薄かったのですが、現実的に感じるきっかけになりました。無関心ではいけないと思いました。



▲山根和子さんの講演

問い合わせ 生涯学習スポーツ振興課  
Tel 23・1259